

第 4 5 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 新年度も引き続き、被害が甚大な 6 市町に対し、県はもとより、県内市町からの派遣職員も増員し、被災市町の災害対応業務を支援することとした。

具体的には、

- ・ 県職員については、これまでリエゾンや市町の災害対応業務を応援する職員として 6 市町に 70 人程度派遣してきたが、これを 4 月以降も継続する。
- ・ また、奥能登行政センターに部長級の現地対策室長を配置するとともに、今後 1 年間、6 市町に各 1 人管理職を常駐させ、6 市町との情報共有・連携体制の強化を図ることとした。
- ・ このほか、公費解体の担当職員を 6 人から 8 人に増員し、市町における円滑な公費解体を後押しする。
- ・ 一方、市町職員については、本格化する被害認定調査を円滑に進めるため、金沢以南の市町の税務職員を中心に 9 人派遣いただくほか、罹災証明や公費解体等の手続きを行う行政窓口を支援する 14 人と合わせ、合計 23 人を派遣いただくこととなった。

このほか、不動産鑑定士協会と土地家屋調査士協会から専門家を 9 人派遣いただき、被害認定が容易ではない案件の技術的な支援を行っていくこととなった。

金沢以南の 6 市 1 町の各首長さんと、不動産鑑定士協会、土地家屋調査士協会の皆さんに、あらためて感謝申し上げたい。

- また、新年度からの復旧・復興業務の本格化に対応するため、国（総務省）、全国知事会等を通じて、全国の自治体に中長期の応援職員の派遣を要請し、4月以降、44都道府県から約130人の応援職員が本県に派遣される予定となった。

既に、昨日（4/1）時点で56人の応援職員が着任し、なりわい再建支援補助金の審査や、応急仮設住宅建設の設計・工事監理など幅広い業務に、本庁だけではなく、被災した奥能登・中能登地域の出先機関で対応いただいている。

さらに、被災市町には、39都道府県、102市区町から約230人の中長期の応援職員が奥能登等の6市町を中心に派遣される予定となった。

調整をいただいた総務省・全国知事会をはじめ、応援いただいている全国の自治体の首長さん、派遣職員の皆さんに改めて感謝申し上げたい。

- 4月に入り、これから梅雨時期に向けて、まとまった雨も想定され、地震により河川の堤防や護岸などが損傷し、地盤がゆるむなど、従来よりも大雨による災害が発生しやすい状況が懸念される。

こうした中、昨日から、甚大な被害を受けた県内9河川について、水防活動の目安となる基準水位を引き下げたところであり、発災当初から発表基準を引き下げしている土砂災害警戒情報についても、引き続き、その運用を継続し、警戒態勢に万全を期すこととした。

- 義援金については、1月4日の受付開始以来、563億円余に達しており、国内外の皆様からの支援に対し、改め

て心から感謝を申し上げたい。

明日、第2回目の配分委員会を開催し、住家の被害に応じた1次配分の金額をさらに積み増すとともに、液状化の地域も含め、県内各地で発生している、半壊までには至らない住家被害への配分についても検討していただきたいと考えている。

- 自衛隊のご協力により、1月14日から、被災された方々や応援職員等の休憩・宿泊施設として、民間船舶「はくおう」及び「ナッチャン world」を七尾港に派遣いただいていた。

「はくおう」は、被災された方々の休養施設として、1泊2日で温かい食事とお風呂をご利用いただき、個室で落ち着いてお休みいただく、という休憩の場所としてご活用いただいた。これまで延べ約2,600名にご利用いただき、利用された方からは、心身ともにリフレッシュできたと大変喜ばれた。

また、「ナッチャン world」は、被災市町に派遣されている国及び県内外の自治体職員、DMAT等が宿泊し、情報収集・共有をする災害対策拠点として活用され、これまで延べ約2,200名にご利用いただいた。

3月末をもって両船舶の運用は終了し、明日、七尾港を離岸する予定となっている。自衛隊の皆様には、改めて心から感謝を申し上げたい。

2. 会議最後の発言

- 新年度に入り、昨日から新たな組織として、「能登半島

地震復興・復旧推進部」がスタートした。各部局との連携はもとより、国や被災市町ともしっかりと連携し、円滑に業務を進めてほしい。

- 本日、総額100億円のファンドでの債権買取をはじめとした、事業者の資金繰り支援の窓口として、七尾市で「能登産業復興相談センター」が開所した。

補助金と資金繰りの両面から、事業者の声をしっかりと汲み取り、1日も早い生業の再建に繋げてほしい。

- 創造的復興のためのプランの最終案の取りまとめに向け、各施策の具体化を進めるとともに、当初予算を肉付けする政策経費についても、6月補正予算に向けて本格的に検討を進めてほしい。

- 来週の4月8日（月）から9日（火）にかけて、首相官邸・永田町・霞が関を訪問し、これまでの御礼とともに、引き続きの支援をお願いすることとしている。